

類別：(38749000) 器32 医療用吸引器 一般の名称：再使用可能な汎用吸引チップ 【クラス I 一般医療機器】

販売名：TM吸引管A（鏡視下吸引管・カテラン針・洗浄針）

※ 個別の詳細製品名は納品書等でご確認下さい

【警告】

この製品は対人処置手術用医療機器です。使用する人は十分注意を払い、正しい使用目的においてのみお使い下さい。使用方法を誤りますと人体に被害あるいは人命に関わる事があります。鋭利な部分でケガ等をしない様に取扱いや持運びには十分ご注意下さい。

【禁忌禁止】

- ・強酸性、強アルカリ性、塩素系の各溶液への浸漬。
- ・水分を付けた状態での放置（錆の発生）。
- ・医療機器修理業者以外による修理。
- ・改造。

【形状・構造及び原理】

- ・形状＝筒状（注射針形状）。
 - ・構造原理＝吸引陰圧空気、あるいは液体を伝達する中空状の構造物。
 - ・原材料＝ステンレス、銀（フレキシブルタイプ）。
- ※ 主として患者に触れる箇所の各素材。

【使用目的、効能又は効果】

- ・処置手術対象領域に対して血液、粘液等を吸引する。
- ・ディスポシリンジ等と組合せて、患部等に対し水洗浄や、薬液の塗布等するために用いる。

【操作方法又は使用方法等】

- ・手動。
- ・吸引用にする場合は、チューブを介して吸引装置と接続しあるいはディスポシリンジ等と直結し、先端を目的個所に近づけるか接触あるいは穿刺させて、血液や粘液等を吸い取る。
- ・送水用にする場合は、ディスポシリンジ等と接続し、洗浄水等を噴水するための先端チップとして使う。

【滅菌方法】

- ・本製品は未滅菌なので使用前に洗浄、滅菌すること。
- ・再使用可。
- ・初回使用前の洗浄は器械表面に付着している保護油分や残留粒子等を落とすために中性洗剤とスポンジを用い、入念に洗浄すること。すすぎは十分に行うこと。
- ・使用後は除菌洗剤とスポンジやブラシで水洗浄を行い、肉片、血液、粘液をほとんど洗い流す。
- ・マンドリン（針金）等で内部の残留物を押し目詰りを予防する。アダプター接続口側から送水する事も管内の洗浄に有効。
- ・次に超音波洗浄器があればかける。刃物類は刃が他の器械に接触していると超音波振動で擦れていたむのでカゴなどに入れて刃部分を保護すること。
- ・オートクレーブ、プラズマ滅菌、ガス滅菌が可能。
オートクレーブは132度、2気圧、10分間程度が目安。脱塩素水の利用および、滅菌バッグを推奨。滅菌工程に際しては開口部を開放して十分な滅菌効果が得られるようにすること。
- ・強酸性水、強アルカリ性水を使用する洗浄は、製品に錆や変色（黒化）、色むら、腐食が発生する事がある。作用部位に機能的

な障害が出なければそのまま使用可能。外観上嗜好的問題がある場合は使用を中止する。一時的に用いる場合は、そのあとすぐに水で洗い流すこと。

- ・次亜塩素酸ナトリウム系（ミルトン、ピューラックス等）の消毒液は、金属の影響で消毒液が黒く変色することがあります。また金属が腐食、変色するので出来るだけ使用を避けてください。
- ・錆や腐食防止の為、滅菌工程中における水性防錆潤滑剤（瑞穂医科工業(株)製「ミルクテックS」等）の使用を推奨します。

【使用上の注意】

- ・本品は未滅菌です。使用前に滅菌して下さい。
- ・使用する際、抗力により製品が破損或いは破壊するほどの入力を与えること。同様に人体への創傷に注意すること。
- ・金属部分は通電性があるので電気メスの併用時は絶縁性手袋を使うなどして十分注意すること。
- ・フレキシブル（自在）な性質の製品は繰返しの折曲げ行為により急速に劣化断裂しますのでご注意下さい。
- ・吸引処置中は、目詰まりを予防するために時々水を吸引しながら行って下さい。また吸引終了後は十分に水を吸って管内に残留物を残さないようにして下さい。使用後は十分に流水で管内まで洗浄して下さい。
- ・各素材へのアレルギー患者に使用する場合はご注意下さい。

【貯蔵・保管方法及び使用期間（有効期限）等】

- ・滅菌後は速やかに紫外線保管庫などの無菌空間に移しかえ保管すること。
- ・滅菌バッグ包装状態であればそのまま、清潔かつ安全な場所に保管すること。
- ・フレキシブル管は銀材料を用いているので、薬品や温度変化等により硫化して表面が黒く変色します。気になる場合は金属研磨剤（ピカール等）をティッシュ等に少量付けて磨くと黒ずみがとれます。
- ・あまりに長期間の使用は使用中の突然の破損などの不意な事故につながりかねませんので2～5年間を目処に買い替えをするように心がけてください。特にフレキシブルタイプは曲げ行為による劣化が早いので早めの更新を推奨します。

【取扱い上の注意（および輸送、受渡時）】

- ・直射日光、湿気、埃、物理的衝撃を避けること。積重ねによる変形に注意すること。

【保守、点検に係る事項】

- ・使用前、洗浄後に劣化部分や破損部分、破損しかけている部分がないかを点検し、もし異常を発見したらその製品は使用を止める。必要に応じて医療機器修理業者に修理を依頼するか廃棄して下さい。
- ・使用中違和感を感じたら破損の前兆と捉え使用を中止して下さい。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

- 株式会社テーエム松井（発売元および問合せ先）
〒113-0034 東京都文京区湯島3-4-13 TEL 03-3831-3287

TM matsui 株式会社テーエム松井（耳鼻咽喉科医療器械）

添付文書（医薬品医療機器等法第63条2第1項規定）および 医療機器販売業者等における品質確保手順書（QMS省令第72の2条第2項2号）準拠

—この文書内容を無断で転載転用する事を禁止します—